

## 農地法第3条許可申請書記入マニュアル

※ このマニュアルは、初めて農地法第3条の許可申請をしようとする方向けに、許可申請書の記入方法をわかりやすく解説したものです。

このため、法律上の正確性よりわかりやすさを優先した表現になっています。

## 目次

1 個人が農地を買ったり借りたりする場合の許可申請書様式の記入例 3頁

2 個人が農地を買ったり借りたりする場合の別添様式の記入例 5頁

その他の場合はお問い合わせください。

※1 農地を買ったり借りたりする場合には、農地法第3条に基づき、農業委員会（住所のある市町村外の農地である場合等には、住所のある市町村外の農地の農業委員会）の許可を受ける必要があります。

農業委員会の許可を受けていない契約は無効ですので、十分ご注意ください。

# 農地法第3条の規定による許可申請書

令和 年 月 日

貝塚市農業委員会会長 様

譲受人 氏名 **畑 耕作**  
(被設定者)

印 (外 名)  
(申請当事者全員の詳細は下記のとおり)

譲渡人 氏名 **田畑 守**  
(設定人)

印 (外 名)  
(申請当事者全員の詳細は下記のとおり)

下記農地(採草放牧地)について、**所有権**・賃借権・使用貸借による権利・その他使用収益権( )  
を**移転**・設定(期間 年)したいので、農地法第3条第1項に規定する許可を申請します。

## 1 申請者の氏名等

当事者の別	氏 名	印	年齢	職業	住 所
<b>譲受人</b>	<b>畑 耕作</b>	<b>畑</b>	<b>56</b>	<b>農業</b>	<b>貝塚市畠中〇〇一〇</b>
<b>譲渡人</b>	<b>田畑 守</b>	<b>田畑</b>	<b>65</b>	<b>農業</b>	<b>貝塚市臨浜〇〇一〇</b>
	賃貸借の場合には、 借人				
	貸人と記入してください。			権利を渡すかた は <b>実印</b> です。	

## 2 許可を受けようとする土地の所在等 (土地の登記事項証明書を添付してください。)

所在・地番	地目		面積 (㎡)	対価、賃料等の額(円) (10a当りの額)	所有者の氏名又は名称 (現所有者が登記簿と 異なる場合)	所有権以外の使用収益権が 設定されている場合	
	登記	現況				権利の種 類	権利者の氏 名又は名称
<b>畠中〇〇</b>	<b>田</b>	<b>田</b>	<b>1,000</b>	<b>5,000,000</b>			
				1反あたりの売買金額、 または賃貸借料を記載して ください。  ( <b>5,000,000</b> /10a)			

### 3 権利を設定し、又は移転しようとする契約の内容

(1) 権利を設定又は移転しようとする時期

**許可後(令和2年2月)**

(2) 土地の引き渡しを受けようとする時期

**許可後(令和2年3月)**

(3) 契約期間

**10年**

賃貸借、使用貸借の場合、期間を記載してください。

(記載要領)

- 1 法人である場合は、住所は主たる事務所の所在地を、氏名は法人の名称及び代表者の氏名をそれぞれ記載し、定款又は寄付行為の写しを添付してください。
- 2 競売、民事調停等による単独行為での権利の設定又は移転である場合は、当該競売、民事調停等を称する書面を添付してください。
- 3 記は、(1) 権利を設定又は移転しようとする時期、(2) 土地の引渡しを受けようとする時期、(3) 契約期間等を記載してください。また、水田裏作の目的に供するための権利を設定しようとする場合は、水田裏作として耕作する期間の始期及び終期並びに当該水田の表作及び裏作の作付に係る事業の概略を添付してください。

## 農地法第3条の規定による許可申請書（別添）

農地法第3条第2項第1号関係

1-1 権利を取得しようとする者又はその世帯員等が所有権等を有する農地及び採草放牧地の利用状況

所 有 地		農地面積 (㎡)	田	畑	樹園地	採草放牧地面積 (㎡)
	自作地		5,300	4,000	1,300	
貸付地						
所 有 地		所 在 ・ 地 番	地 目		面 積 (㎡)	状 況 ・ 理 由
			登 記	現 況		
	非耕作地					

所 有 地 以 外 の 土 地		農地面積 (㎡)	田	畑	樹園地	採草放牧地面積 (㎡)
	借入地		1,000	1,000		
貸付地						
所 有 地 以 外 の 土 地		所 在 ・ 地 番	地 目		面 積 (㎡)	状 況 ・ 理 由
			登 記	現 況		
	非耕作地					

(記載要領) 1 「自作地」、「貸付地」及び「借入地」には、現に耕作又は養畜の事業に供されているものの面積を記載してください。

なお、「所有地以外の土地」欄の「貸付地」は、農地法第3条第2項第6号の括弧書き（疾病または負傷による療養等のため、一時的に貸し付けようとする場合等）に該当する土地です。

2 「非耕作地」には、現に耕作又は養畜の事業に供されていないものについて、筆ごとに面積等を記載するとともに、その状況・理由として、「～であることから条件不利地である」、「賃借人〇〇が〇年間耕作を放棄している」、「～のため〇年間休耕中である」等耕作又は養畜の事業に供することができない旨を詳細に記載してください。

1-2 権利を取得しようとする者又はその世帯員等の機械の所有の状況、農作業に従事する者の数等の状況

(1) 申請地取得後の営農計画

所 在 地	地目	面積	作付予定作物	10a当りの収穫見込	収入見込
貝塚市島中〇〇一〇	田	1,000 ㎡	米	450Kg	100,000 円
		㎡		Kg	円

(2) 大農機具又は家畜の保有状況

種 類	耕うん機	トラクター	田植機		
数 量	1	1	1		
区 分	所有・リース	所有・リース	所有・リース	所有・リース	所有・リース
導 入	済・予定	済・予定	済・予定	済・予定	済・予定
導入予定の場合資金繰り（自己資金、借入等）					

(記載要領) 1 「大農機具」とは、トラクター、耕うん機、自走式の田植機、コンバイン等です。「家畜」とは、牛、豚、鶏等です。

2 導入予定のものについては、自己資金、金融機関からの借入れ（融資を受けられることが確実なものに限る。）等資金繰りについても記載してください。

(3) 農作業に従事する者

①権利を取得しようとする者の農作業経験等の状況	農作業歴 ( <b>35</b> 年)
	農業技術修学歴 ( 年)
	その他 ( )
②世帯員等その他常時雇用している労働力 (人)	現在: <b>2</b> 人 (農作業経験の状況: )
	増員予定: 人 (農作業経験の状況: )
③臨時雇用労働力 (年間延べ人数)	現在: 人 (農作業経験の状況: )
	増員予定: 人 (農作業経験の状況: )
④ ①~③の者の住所地、拠点となる場所等から権利を設定又は移転しようとする土地までの距離および時間	住所地、拠点となる場所等から <b>2</b> Km <b>5</b> 分 通作方法 <b>自転車</b>

農地法第3条第2項第4号関係

2 権利を取得しようとする者又はその世帯員等のその行う耕作又は養畜の事業に必要な農作業への従事状況

(「世帯員等」とは、住居及び生計を一にする親族並びに当該親族の行う耕作又は養畜の事業に従事するその他の2親等内の親族をいいます。)

	氏 名	年齢	職業	権利取得者との関係	農作業従事日数	備 考
世帯員等	<b>畑 耕作</b>	<b>55</b>	<b>農業</b>	<b>本人</b>	<b>300日</b>	
	<b>畑 保子</b>	<b>52</b>	<b>農業</b>	<b>妻</b>	<b>250日</b>	

その者の農作業への従事状況 (該当する期間 (実績又は見込み) を「←→」で示してください。)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
その行う耕作又は養畜の事業に必要な農作業の期間		←→			←→	←→			←→	←→		←→
その者が農作業に常時従事する期間	←→	←→		←→	←→	←→			←→	←→	←→	←→

(「農作業に常時従事する期間」とは、その期間、必要な農作業 (耕うん、播種、施肥、刈取等) にいつでも従事できる状態にあることをいいます。)

農地法第3条第2項第5号関係

3 権利を取得しようとする者又はその世帯員等の権利取得後における経営面積の状況

	権利を有する農地の面積 (現在の耕作地の面積) (㎡)	権利を取得しようとする農地の面積 (申請地の面積) (㎡)	合計 (㎡)
農地	<b>5,300</b>	<b>1,000</b>	<b>6,300</b>
採草放牧地			

農地法第3条第2項第7号関係

4 周辺地域との関係

権利を取得しようとする者又はその世帯員等の権利取得後における耕作又は養畜の事業が、権利を設定し、又は移転しようとする農地又は採草放牧地の周辺の農地又は採草放牧地の農業上の利用に及ぼすことが見込まれる影響を下記に記載してください。

(例えば、集落営農や経営体への集積等の取り組みへの支障、農薬の使用法の違いによる耕作又は養畜の事業への支障等について記載してください。)